

Metamorphose



力のから 身か 変考 のゆらぎ

信州大学人文学部

×

砂連尾 理

×

公募メンバー

×

観客

日時 2018年7月7日(土) 開場14:30 開演15:00

場所 まつもと市民芸術館 オープンスタジオ

“二年前、父が病で倒れた。二度に渡る手術の後、視力を随分失った父の発する言葉や佇まいがそれまでとは随分変わり、まるで人が生まれ変わったかのように感じた。新しく生まれ変わっていく父を見て、老いや障害を抱えるということが若さや健常の対の概念としてではなく、身が変わっていく過程として捉えられるようになった。

生の揺らぎの中で起こる様々な変身—メタモルフォーゼ。生きるということをそのように捉え直してみると、私たちの生は一体どんな変化が起きるのだろう。”

砂連尾 理

カフカの『変身』を出発点に、振付家・ダンサーの砂連尾理氏が演出を務める信州大学人文学部芸術コミュニケーション分野ゼミ生と、一般公募により集まった市民によるショーイングを開催します。生のゆらぎの中にある「変身」を探るプロセスを観客の皆さんと共有する場です。そこではどのような模索する身体に出会えるのでしょうか。

ゲストは、佐久間新氏（ジャワ舞踊）、ほんまなほ氏（声・詩・ガムラン）。そして、砂連尾氏が教鞭を取られている立教大学現代心理学部・映像身体学科の学生も参加します。

【招聘アーティストプロフィール】

砂連尾 理（じゃれお・おさむ） / 振付家・ダンサー



©三浦博之

大学入学と同時にモダンダンスを始める。1991年、ダンサー寺田みさことのダンスユニットを結成。02年、「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞」（グランプリ）、「オーディエンス賞」をW受賞。04年、京都市芸術文化特別奨励者。近年のソロ活動では、ドイツの障がい者劇団ティクバとの「Thikwa+ 循環プロジェクト」（ドラマトゥルク：中島那奈子）から共に踊る相手の層を広げ、京都・舞鶴の高齢者との「とつとつダンス」及び「とつとつダンス part2- 愛のレッスン」では、ダンスから介護への視点をなげかけている。初の著作「老人ホームで生まれた〈とつとつダンス〉_ダンスのような、介護のような_」（晶文社）を発売。創作の際の言葉が鶴田清一「折々のことば」/朝日新聞連載で紹介されている。立教大学 現代心理学部・映像身体学科 特任教授
公式サイト：<http://www.osamujareo.com>

【日時】2018年7月7日（土）14:30 開場 15:00 開演

※ショーイング後にはトークも開催します。ファシリテーター：篠原成彦（信州大学人文学部教授 哲学・思想論分野）

【場所】まつもと市民芸術館 オープンスタジオ（3F）

【料金】無料（要予約）

【予約・お問い合わせ】

Web <http://kitamurawszemi.tumblr.com>（予約フォームあり）

Mail kitamurawszemi@gmail.com

※ご予約の際は、件名を「砂連尾理ショーイング申込」とし、

①お名前 ②お電話番号 ③人数をお書き添えください。

【アクセス】

まつもと市民・芸術館
Matsumoto Performing Arts Centre

〒390-0815 長野県松本市深志 3-10-1
Tel 0263-33-3800



バス：JR 松本駅お城口（東口）、駅前バスターミナルから「市民芸術館」下車
徒歩：JR 松本駅お城口（東口）からあがたの森通りをまっすぐ東へ800m、徒歩10分
※駐車場の用意はございません。公共交通機関や有料駐車場をご利用ください。
※近隣商業施設等への無断駐車は他のお客様のご迷惑になりますので遠慮下さい。

【芸術コミュニケーション分野（身体表現系）について】

信州大学人文学部芸術コミュニケーション分野では、舞踊・美術・音楽を中心とする様々な領域における芸術を、複数の立場・観点から学んでいます。当分野の中でも、北村明子准教授によるゼミでは、芸術表現の中の身体表現と舞台芸術に焦点を当て、実践的にアートマネジメントを学びながら地域とアートを繋ぐ活動を行っています。2008年度から活動を始め、今年度は昨年度から引き続き砂連尾理氏を招聘し新たな身体表現の可能性を追究しています。

Web サイト <http://kitamurawszemi.tumblr.com>

Facebook <https://www.facebook.com/artcomkw>

Twitter @kitamurazemi

協力 立教大学心理芸術人文学研究所
制作 中山佐代
企画・制作統括 北村明子（信州大学人文学部准教授 芸術コミュニケーション分野）、
信州大学人文学部芸術コミュニケーション分野 北村ゼミ
プロジェクト統括 高瀬弘樹（信州大学人文学部准教授 心理学分野）
主催 信州大学人文学部、一般財団法人松本市芸術文化振興財団